

# Philip Flavin 第六回地歌演奏会

令和1年12月1日(日) 午後3:00~4:30

## 客演

古澤流地歌舞：古澤侑昆 箏・三絃：倉橋文子  
尺八：倉橋容堂 箏：井上浜子

## 桜川

作曲：菊岡検校 歌・三絃：Philip Flavin  
箏手付：光崎検校 尺八：倉橋容堂  
箏：井上浜子・倉橋文子

### - 歌詞 -

あら玉の、春は氷も解け初めて、浪の花こそよすらめと、瀬々の白波しげければ、  
かすみぞながす浮島の、げに面白や。昔の春も今もなほ、変らで花の麗はしく、  
水もにごらぬさくら川。

## 夕べの雲

作曲者：光崎検校 歌・三絃：倉橋文子・Philip Flavin  
歌・箏：井上浜子 尺八：倉橋容堂

### - 歌詞 -

憂しと見るも月の影、嬉しと見るも月の影、薄雲たなびきて、心の色ぞ灰めく  
ゆかり嬉しき面影、引き留めし袖の香、忘れぬ情に、あはれを知るもことわり  
逢ふごとに時雨して、深く染むるもみじ葉吹き散らす山風、心なきもうらめし  
夜もすがらつくづく、ありし世のこと思ひ寝の、夢に見ゆる面影如何にして我  
がねやへ来ることの嬉しき、はかなくも夢さめて、かすかに残るともしび夢に見  
しふしども、覚めて寝ねたるふしども、変らぬぞ恋しき、さめて姿のなければま  
ぼろしの姿も、夢路ならではいかで見ん、絶えてかはさぬ言葉も、梓にかけて交  
はさん

## 菊の露

作曲：広橋勾当 歌・三絃：Philip Flavin  
地唄舞：古澤侑昆

### - 歌詞 -

鳥の声 鐘の音さへ身にしみて 思ひ出すほど涙が先へ 落ちて流るる妹背の  
川を と渡る船の楫だにたえて 甲斐もなき世と恨みて過ぐる  
思はじな 逢ふは別れといえども愚痴に 庭の小菊のその名に愛でて 昼は眺め  
て暮しもしょうが 夜々ごとに置く露の 露の命のつれなや憎や 今はこの身に  
秋の風

## 夜々の星

作曲：光崎検校 歌・三絃：Philip Flavin  
箏：倉橋文子 尺八：倉橋容堂

### - 歌詞 -

玉櫛笥 再び三度 思う事 思うがままに 書きつけて 見すれど海女の 潜きし  
て刈るちよう 底の海松布にも 触れぬを痛み 頼みにし 筆にさえだに 恥ずかしの  
軒の葱に 消えやすき 露の身にしも ならまほし ならまく星の 光すら 絶  
えて文なく なるまでも 八夜九夜と 思い明かし 雲井を眺め 術を無み 袖の  
雫の 堰き入るる 硯の海に 玉や沈めん

# 地歌演奏会



# 出演者



## 古澤流地歌舞 古澤侑昆

古澤流地歌舞師範

幼少の頃日本舞踊音羽流に入門、25年学ぶ。2000年地歌舞古澤流に入門、現家元古澤侑峯に師事。地歌舞の研鑽と普及に努める。大阪能楽堂、横浜能楽堂、安土信長の館等アメリカ、ドイツ、スイス等出演。又伊勢神宮、出雲大神宮、飛鳥寺等にて舞を奉納する。尺八、琵琶、和編鐘による創作舞にも挑む。滋賀県文化祭奨励賞。現在滋賀、京都を中心に侑昆会を主宰しており、毎年大津市伝統芸能会館で舞の会を主催している。

## 尺八 倉橋容堂（くらはし・ようどう）

京都市生まれ。京都市在住。

初代倉橋容堂（父）と松村蓬盟に師事し、琴古流尺八及び古典普化尺八を学んだ。

現在、尺八道場「無住庵」を主宰している。

活動拠点は京都と大阪であるが、1995年からアメリカで年2回の定期尺八講座「尺八インテンシブ」を開講し、ニューヨーク・フィラデルフィア・ワシントン・ダラス・サンフランシスコなど7つの都市で尺八を広めている。

演奏活動としては、尺八ソロリサイタルを、京都・大阪のほか、ニューヨーク・モンテリオール・アトランタ・サンフランシスコ・パリ・ゲント（ベルギー）・アムステルダム・セント村（スイス）・エルサレム・バミューダ島・北京・上海・蘇州・杭州・スワトウなどで開いてきた。

2年間にわたり月刊誌「邦楽ジャーナル」にユーモアエッセイを連載して、好評を博した。

2012年には「国際尺八フェスティバル in 京都」を主催し、世界17カ国から600人の尺八演奏者と3000人の尺八愛好者が集合した。

「大阪文化祭奨励賞」「京都市芸術文化協会賞」など受賞。

本曲CD「Kyoto Spirit」が米雑誌「ニューエイジ・マガジン」に＜CDオブザイヤー＞に選定された。

京都市芸術文化協会評議員、京都三曲協会理事、京都邦楽グループ理事を歴任し、現在は京都明暗寺虚竹禅師奉讃会常任理事。



## 倉橋文子（くらはし・あやこ）

大阪府出身。京都市在住。

幼少より生田流箏曲を前田礼子（母）に、九州流地歌三弦を佐々川静枝に師事。

古典畑ではあるが、現代邦楽や洋楽器との共演も多く、現在フリーの演奏家として活躍中。

尺八奏者の倉橋容堂（夫）とともにアメリカ（オクラホマ・テキサス・ワシントンDC・カリフォルニア）、オーストラリア、カナダ、ベルギー、オランダ、スイス、中国でジョイントリサイタルを開催。

2018夏には「WSF2018 ロンドン」にゲスト奏者として参加。

「あや音会」主宰。静礼会・京都三曲協会・箏曲女流協会会員。

## 井上 溪子

9歳で叔母小泉茂子（生田流宮城会）に箏を習う。22歳で鈴木和子に師事。23歳で佐々川静枝に三弦を師事。NHK テレビ「邦楽百選」に出演。平安女学院中学校高等学校で教員として箏曲部の指導。



## Philip Flavin

1978年 University of the Pacific 大学入学、国際関係・日本語を専攻。1979年二年生関西外国語大学留学、正派邦楽会大師師範睦好雅楽志主に入門し、手ほどきを受ける。1980年正派邦楽会準師範試験を優等賞合格。1983年正派音楽院本科入学、1985年同校研究科入学、在学中箏曲を中島靖子・後藤すみ子に師事、地歌三弦を三宅倫子に師事。卒業後箏曲を唯是震一、九州系地歌を井上道子に師事。NHK 邦楽オーディション合格、NHK テレビ・ラジオ、日本各地演奏活動。正派邦楽会大師範。2002年に UC Berkeley 大学院に入学、2004年音楽部で民族音楽学修士終了、同年ドクター・コースに進学。博士論文研究のために（米国）教育省よりフルブライト奨学金を受賞し、富山清隆（現清琴二世）に「作物」を師事する。博士終了後、Social Science Research Council（米国・社会科学研究会議）より奨学金を受賞し、二年間京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターで客員研究員を勤める。在席中菊田歌雄に師事、継山流琴組歌・野川流三味線組歌を修得。その後豪州に移りメルボルン大学・モナッシュ大学で客員研究員・客員教授を勤める。2013年に大阪経済法科大学に専任講師として雇われ、再び渡米。現在は関西外国語大学准教授で、同志社大学・京都造形大学・京都市立芸術大学の非常勤講師を勤める。国籍は豪州・米国。